

こんにちは

夏の甲子園を目指す 日光高等学校 野球部



今日は、夏の全国高校野球を前に、練習に励む日光高等学校野球部を訪問、広田監督と須藤部長に伺いました。

—こんにちは、毎日の練習ご苦労さまです。現在、野球

〔甲子園へのガッツポーズ〕

部員は何人ですか。
 広田 女性マネージャー八名を含め四十六名です。
 —今年度の戦績は。
 須藤 新チームになった昨年八月から今日（六月十八日）まで、公式戦と練習試合を含め、39勝5敗4引分けです。
 —九割に近い勝率とはすごいですね。チーム・カラーを一言でいうと。
 広田 投・攻・守の三拍子揃ったバランスのチームと言えます。
 須藤 私は、走を加えて四拍子揃ったチームだと言っているんです。
 広田 実力的にはAクラスとして、他のチームにひけをとらない力を持っています。ただ、実績がないので、選手に自信がないんです。勝てるという自信と自覚さえ持てれば、他校に肩を並べるチームだといえます。
 —これまでの戦績からも実力のほどが伺えます。甲子園も夢ではない。
 広田 もちろんです。夢だと

思っているのは、いつまでも夢に終わってしまうわけで、甲子園出場を「夢」ではなく「目標」にしなければいけません。その力は十分あります。
 —冬が長いのは大変なハンディだと思いますが。
 広田 雨の多いのと冬の寒さは目に見えないハンディと言えますが、冬の間、全くボールを持たないので、その分、シーズンに入ってから、一気にエネルギーが爆発するとも言えます。

須藤 後援会の父母の皆さんのご協力や、県当局のご理解で、県内でも指折りのグラウンドを持つことができ、ありがたいと思っています。
 —お話を伺って、甲子園がぐっと身近に感じて来ました。市民も大いに期待し、応援していますので、がんばってください。（この日、練習を終えてマイクロバスで仙台に向かった日高チームは、翌日、今年の東北大会優勝の仙台育英高校を、練習試合で1×0で破りました）

新しい電話帳が配布される時期に、職業別電話帳に広告を掲載した事業者に対して、「広告料金を振り込むように」と振込用紙が届くことがあります。
 用紙の裏側には、記載広告欄があり、NTTの電話帳に掲載された事業者の広告が切り抜いて添付されています。
 早合点した人は間違えて払い込みしてしまう例があるようです。
 しかし、振込用紙をよく見ると、NTTの広告料金を請求しているのではなく、自社発行の電話帳への広告申込みとなっていることが「注意」として、次のように印刷されています。
 ○当社発行の職業別広告と（NTT）発行の職業別とは関係ございません。
 ○解約の場合は当社事務手数料を差引きます。

くらしの3情報

まぎらわしい 電話帳広告

○解約料30%
 ○印刷に入った場合は、解約は致しません。
 つまり、この請求書は事業者が前もって申込んだ広告ではなく、NTTとは関係のない別の会社が、言わば勝手に自社発行の電話帳に掲載する広告の掲載料というわけです。
 請求のあった会社には、広告掲載を申し込んでいた場合や、発行される電話帳の広告効果や、期待する場合は、料金を支払っても問題は無いでしょうが、NTTの電話帳とは関係ないことを承知のうえに対処する必要があります。
 なお、NTTでは、広告料のみを別に請求することではなく、電話料金と一緒に請求することになっています。（栃木県消費生活センター ☎0286-34-3181）